

1月号

# いっしん

平成31年(2019年)

第408号

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市  
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653  
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

甘木親教会  
初代教会長  
安武松太郎師御歌

かぎりなき  
み愛でに生くる  
身の幸を  
礼びまつるぞ  
信心と知れ

甘木親教会 布教115年 記念大祭 平成31年 10月26日・27日  
加治木教会 矢野政美大人20年祭・矢野サダ子大刀自5年祭 平成31年2月10日



信心とはいかなることを  
いうならむはじめ忘れぬ  
心ならずや  
安武松太郎師御歌

新年明けましておめでとございま  
す。立教百六十年、甘木親教会布教百十  
五年、加治木教会では矢野政美親先生二  
十年祭併せて矢野サダ子大刀自五年祭  
の、お年柄を迎えさせていただきます。  
特に、加治木教会にとりましては、十  
月にお迎えします甘木親教会の布教百  
十五年記念大祭であります。

金光様はもちろんのこと、親教会の初  
代・歴代の親先生方のみ祈りあつての加  
治木教会であり、それがもとであります。  
教祖様直信の津川治雄という方の伝  
えに「おかげを受けるのに巧者がある。  
だれもおかげをいただいたら、そのあ  
りがたいということをつつまでも忘れ  
ないようにせよ。…それさえ忘れなけれ  
ば、おかげは思うようにいただける。」  
とあります。

また故矢野政美親先生も「おかげに馴  
れるとついはじめを忘れて、神の恵みと  
はいいながらも涙のじみ出るような  
感激が薄らぐものである」と信心の濁り  
を戒める内容を書き残されてあります。  
今年も、二月の加治木教会式年霊祭と、  
さらに十月の親教会記念大祭という、大  
きな節を迎えさせていただきます。

共々にこの大節に、もつとを再確認し、  
感激を新たにし、信心成長のおかけを蒙  
らせていただきます。 (教会長)

新年を迎えて…P1  
木山仮設住宅団地演奏奉仕…P4

甘木親教会生神金光御大神…P2~3  
遺稿…P5~7 教会行事…P8

# 甘木親教会 生神金光大神御大祭

参拝

十二月三日(月)甘木親教会では、生神金光大神御大祭が仕えられました。安武道義親先生(ご祭主のもと多くの教会の先生方がご参列され、麗しく)祭典が仕えられました。

「ご祭典後、安武道義親先生のご教話を拝聴させていただきました。」



◇◇◇◇◇  
【ご教話の要点】

金光四神様(二代金光様)のみ教え「目先のおかげだけでは末の安心は得られません」とはどういう意味でしょうか。おかげを頂かねばどうにもなりません。おかげを頂いていることがわかっていない…。

「おかげください、おかげください」と願う、そのおかげがほんとうのおかげではない。先々のおかげを頂いて行くには信心の稽古を毎日、どこでも、して行かねばなりません。

\*

東京に移って行かれた方で、古賀久夫さんという方がおられました。原鶴温泉の小野屋の関係の方で、毎月手紙でお届けがあり、いつも初代の親先生から頂かれたみ教えを書いてありました。

「あなたは私がいつも何を願っていると思うかな? 信心が進むようにお願いしておるバイ」と、さらにその後古賀さんが「神様のみ姿はどういう姿をしてあるのでしょ

うか」と尋ねられると、古賀さんに指を差して「あなたの姿そのものです」と。信者さん一人一人を神様のみ姿と頂いてあったということです。また「生活の上に、良いことも悪いことも起きてくるが、何事も神様の差し向けと頂いて行くことが大切」と教えられたことでした。

\*

お願いをして願い通りになるのが信心のようですが、初代の教話集を読んでいますと、どうもそうではありません。信心していても、神様に使ってもらうのではなく、神様を使うようになっていくことがあります。自分ではできないので神様の力を借りて、自分の願いをかなえてもらうのは欲です。信心は、自分の欲をかなえていただくということではありません。

神様の願いにこちらから添わせてもらうことです。我が勝手に神様を使うてはいけないと思います。み教えを頂いて心を育てて行かなければなりません。

「信心となつて人を助け導き」と「信心生活運動」の「願い」にあり



ます。自分が良い目に遭いたいたいという思いが誰にもあります。

博多から新幹線に乗った時、三人掛けの席の二人掛けの席の二人してありましたが、次の小倉で二人乗り込んでこられ「ありがとう席を取ってもらって」という方がありました。

そうかと思うと、福山から新幹線に乗り三人掛けの一番通路側に座っていますと、男性の方が「そこ空いていますか、ちょっと待ってください」と言われ、どこからかお婆さんを連れてこられました。そのお婆さんに「今は息子さんですか」と尋ねますと「いえ違います、知りません」とのことでした。感心な方がおられるものです。

み教えを頂かないと、稽古をしないとわからないことがたくさんあり、神様にご無礼していることがたくさんあるように思います。

◆◆◆◆◆

以上のご教話を拝聴させていただきました。

そのあとの奥津城参拝は、お湿りの天候のため、お広前から奥津城遥拝の御祈念が伝えられました。

加治木教会からも、教会長ほか、枕崎教会の松下さんと一緒に星原さんが、信奉者二人で参拝のおかけを蒙られました。



二月十日(日)

報徳祭に併せて

矢野政美大人二十年祭

矢野サダ子大刀自五年祭

ご祭主・ご教話

甘木親教会長

執行

安武道義親先生

あしあと

加治木教会行事記録

12月

1 (土) ●報徳月例祭 10時半

併せて 立教記念祭・新穀感謝祭

3 (月) ●甘木親教会御大祭

9 (日) 斎掃御用 10時

御本部署教功労者報徳祭(遥拝)

10 (月) ●生神堂 月例祭 10時半

12 (水) ●連布教協議会(徳見島) 10時半

15 (土) ●16 (日) 信徒部 教区委員会

21 (金) 斎掃御用 10時

22 (土) ●月例祭・共励会 13時半

●感謝パーティー 17時より

24 (月) 演奏奉仕(本山殿) 8時出発

29 (土) 斎掃御用 10時

30 (日) ●越年祭 13時半



# 加治木教会 バンド隊も 木山仮設住宅団地

## クリスマスパーティーにて 奉仕活動

十二月二十四日、鹿児島地方教会連合会「ひとつとべバンド」隊は、木山仮設住宅団地におけるクリスマスパーティーで演奏奉仕とカレールイース給仕の奉仕活動をさせていただきました。ありがたい思いやたくさんのご感動を頂きました。

加治木教会から四名、鹿児島地方連合会から計八名が参加させていただきました。

「ひとつとべバンド」の演奏奉仕は、練習が十分でなかったものの、シツカリ練習を積んだ、福岡県前原教会からの奉仕者や熊本県三角教会の田中朋子先生たちがおられましたので、カバーしてもらえたようでした。

毎週金曜日に「移動図書館おあしす」の活動を継続的に御用に当たっておりますのお道（金光教）のスタッフの皆さんは、木山仮設住宅団地の自治会役員や集会所を委託運営されておられるYMCAの皆さん方と



の打ち合わせやご準備が大変であったことが察せられました。

昼食のカレーは「移動図書館おあしす」のスタッフ（金光教）が担当しました。薩摩おごじょ（女性も御用に奮闘していました）。

今回の正式名称は「スマイルクリスマス会」で木山仮設住宅団地に暮らすコーラスクラブ「スマイルナンバーワン」の子どもたちが、自分たちが楽しく、高齢方もいっしょに、仮設住宅外の子どもたちや、多くのボランティア団体が交流しながらクリスマス会を過ごそうと計画したクリスマス会です。たくさんの方（遠くは兵庫県から）や個人、自治会、住民の方が、子どもたちのために協力されました。



# 遺稿

故福山悦子氏は、信徒萬代孝子氏の実母で、孝子氏の姉は現宮之城教会長夫人。

矢野政美大人二十年祭を来年(平成三十一年)二月にお仕えするにあたり、矢野政美大人をはじめ共に信心を進めた方々の遺稿を掲載し、当時の信心姿勢に触れて、改めて頂き直し、お慰びさせて頂いた。こうとするものであります。

信心発表 故福山悦子氏

(昭和四十年十月十七日 鹿児島県信奉者大会)

①

そうしたある日「二次整形を」とおっしゃいます。

私としましては衰弱しきった身体でしので受けたくないのですが、受け持ちの先生が「二次をすると元気になるから」と勧められるものから、私も決心して、これから先は神様まかせという気持ちにならせていただき、寝台車に乗り移ろうとします時「酸素がなければ手術はとり止め」と云って来られ、結局中止になったのでございます。

これが大きな神様のお繰り合わせだったと思わせていただくのでございます。後になって看護婦さんからお聞き

したのですが「酸素はあったのに、どうしてあの時ないように見えたのか不思議だ」とのことでしたが、これこそ神様のおかげと、思わしてい



福山悦子氏

が、親神様に抱き上げられ日夜の御取次のおかげをもちまして、一命を拾い上げていただいたのでございま

す。昭和二十六年六月十八日に、親先生が甘木からご布教になりましたからは、母は療養所からお参りを続けさせていただき、私も御大祭には許しを受けてお参りさせて頂いた。よくうにならせていただきました。度々お取次を頂いております内に、私も昭和三十年三月に療養所を退院させていただく決心をさせて頂きました。実際に発病以来十年の長い年月でございました。

然し私は、打ち続く家の不幸、さらに私自身の十年間にわたる闘病生活によりまして、何物にも替えられませぬ「信心」という大きな尊い宝を頂かせていただきました。

有難いことに、退院させて頂いた。だきまして借らせていただきました。家が、お教会に五分とからぬ近くでございまして、指宿療養所時代から何かと親切にしてくれました。今の主人と結ばれましてからは、一家こそって信心のお稽古に励ませていただくようになりました。

毎日お参りさせて頂きました。は尊い御教えを頂き、過去の私を反省し、ようもようも今日こうして生かされ、主婦としての御用のお引き廻し頂き、主人も毎日元気に百貨店に勤めさせて頂いておられます。ことは、ただただ有難いことと御礼申し上げております。

母も一時は養老院に入らせていた。だいたり、胸部も少しおかされていて霧島病院に入院させて頂いた。だり、また、眼も白内障で失明寸前までなったり致しましたが、御取次を頂きまして胸部もお蔭を蒙り、眼も



手術を受けさせていただきまして全快させていただき、爾来元気で八十六才の今日まで長生きのお蔭を蒙らせていただいております。

また到底頂けまいとすっかりあきらめて居りました子宝も、女の子を二人迄も授けていただいております。長女が出産させていただきました時、私は三十七才でございました、しかも逆子でございましたが、陣痛が起こりだしてもなかなか産まれず、主人がお教会に何回も何回もお参りしてお願いをしてくれまして、御取次のお蔭をもちまして、長い時間がかかりましたが無事産ませていただきました。

また、次女もこのような弱い身体でありますので「中絶させていただくか」などと間違った考えを持ってお取次を頂きますと、親先生から「自分で産むのではありません、神様から産ませていただければ楽です」とのみ教を頂いて産ませていただく決心をさせていただきましたが、非常に楽に安産させていただきました。子どもたちも、ただ今七才と五才にならせていただきますが、二人と

も元気で、生まれてこの方病氣らしい病氣も致しませず成長させていただいて居りますことは、ただただ勿体ない思いで一杯でございます。



教会家族と、福山家家族（昭和40年）

思いますれば、私は本当に危ない所を通って来たものでございます。私共親子にもし信心がなかったら、もし再びこのお道にご縁を頂くことがなかったら、いえ、従兄妹藤崎兄妹のお導きの働きがなかったら、い

え、もし天地に充ち渡らせ給う「氏子可愛いと思召す天地の親神様の神心」を心としてお祈り下さる御取次のお働きがなかったら、私の生命はもとより、私の家も死に絶えておったことでございます。

幾度も幾度も死の世界に入りかけました私を、今日このように救い上げて下さいましたのは、まったく生神金光大神様御取次のお蔭としか申し上げられません。

「世間になんぼつも難儀な氏子あり取次ぎ助けてやってくれ」との御神伝のままに、日夜御取次のお働きをなさしめ給う、また人を差し向け給いて、御取次の働きをなさしめ給う、この神様のみ心を、勿体なく恐れ多く思わせていただきます。

これからの私は、今度は私自身の中から、この御取次のお働きを現わさせていただく以外にはないと存じまして、人様の助かられる為にか私にできさせていたたくことをさせていたただかねばと思わせていただいております。

「生活の中でお取次を頂いて、みんなで助かろう」ここに私の信心の

まことをこめさせていたただきたいと念ずるのでございます。

先ず、私はご覧のようにやせておりまして、三十四キロしかございませんが、老いました母に對しましては子として、夫に對しては妻として、また二人の子どもの母親としての方に求めさせていただいております。

例えば、今までちよつとした事でも主人にお願いして、してもらつておりましたが、主人も終日職場で疲れて帰つて来るのでございますので、できるだけ自分でさせていたただけるようにならねばと存じまして、「金光様、金光様」とお願い申し上げながらさせていたただいておりますが、お蔭をもちまして、以前は到底不可能と思つておりましたことが段々できるようにならせていただきまして、心から有難い事に思わせていただいております。

親先生は、かねがね「信心はしいに人間が変わつて来ねば真実の姿ではありません。」とみ教え下さいます、私が以前と比べて今日変わらせていただいて来ておりますことも、

本当にこの信心のお蔭だと存じます。私は、この尊いお道を私すべきではない。親神様の切ないまでもの神心を少しでも悟らせていただき、神の氏子としての、真に氏子らしい生き方にならせていただいて、神様からも生かされ甲斐のあり、恵み甲斐のある氏子に何とからせていただきたいと、近ごろ痛切に思わせていただきます。

それで毎日お教会にお参りさせていただき、一生懸命信心のお稽古にとめさせていただいて、生活の中で、みんなが助かり合う信心を実現させていたただきたい、と願わせていただいております次第でございます。これをもちまして「私の信心」発表に代えさせていただきますいと存じます。皆様、有難うございました。

(おわり)

ご霊神様の

おまじり

一月

- 中村宗吉 之舞 (4日) 昭和61年
  - 松田常衛門 之舞 (4日) 大正9年
  - 中村正義 之舞 (5日) 昭和21年
  - 内村ハル工 之舞 (6日) 昭和59年
  - 有馬幸子 之舞 (9日) 平成16年
  - 西本五男 之舞 (11日) 平成15年
  - 濱口マツエ 之舞 (11日) 平成27年
  - 濱口勝次 之舞 (11日) 昭和27年
  - 前田正蔵 之舞 (13日) 昭和39年
  - 瀬戸セミ 之舞 (14日) 昭和56年
  - 小屋敷勝 之舞 (14日) 平成1年
  - 信國鈴子 之舞 (20日) 平成5年
  - 中島ふさ 之舞 (20日) 平成16年
  - 福山瑞枝 之舞 (20日) 平成21年
  - 瀬戸俊子 之舞 (23日) 平成27年
  - 柳園義男 之舞 (24日) 昭和8年
  - 本中野イセマツ 之舞 (25日) 昭和59年
  - 岡山エク 之舞 (25日) 平成20年
  - 桐野仲助 之舞 (27日) 昭和21年
  - 瀬尾 清 之舞 (27日) 昭和41年
- 〔先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。〕  
教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。



一月三日(日)

### 甘木親教会年頭参拝

出発 午前七時半

一月六日(日) 十時半より

### 少年少女会鏡開き・七草

※お祭りのあと、おかがみ餅を焼いて、ぜんざいと七草たこ焼きを作ります!

一月十日(日) 十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

### 成人感謝祭 奉仕

※成人者、玉串奉奠・記念品授与。

一月二十七日(日) 十時より

場所 鹿児島教会

鹿児島地方教会連合会

### 定期総会

### 教会行事

平成三十一年

1月



1 (祝) ●元日祭 正午

3 (木) 甘木親教会年頭参拝

6 (日) ★少年少女会「鏡開き」10時半

9 (水) 清掃御用 10時

10 (木) ●月例祭(生神金光大神様) 10時半

併せて 成人感謝祭

20 (日) 西鹿児島教会報徳祭 12時

21 (月) 清掃御用 10時

22 (火) ●月例祭・共励会 13時半

27 (日) 連合会定期総会(鹿児島教会にて) 10時

31 (木) 清掃御用 10時

2月

1 (金) ●報徳月例祭 10時半

4 (月) 甘木親教会初代立日

9 (土) 御用奉仕

10 (日) 加治木教会報徳祭 併せて

矢野政美大人二十年祭

矢野サダ子大刀自五年祭

17 (日) ●甘木親教会 報徳祭 11時

18 (月) 甘木親教会「同釜会」

21 (木) 清掃御用 10時半

22 (金) ●月例祭・共励会 13時半

24 (日) 宮之城教会報徳祭 併せて

松井茂喜大人五年祭

28 (木) 清掃御用 10時半

二月十日(日)

報徳祭に併せて

矢野政美大人二十年祭

矢野サダ子大刀自五年祭

執行

ご祭主・ご教話  
甘木親教会長

安武道義親先生

一月十一日〜二月八日

報徳祭 および 式年祭奉迎

### 寒中一斉信行

ご祈念・研修 午前五時十五分・午前十時